



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第402号

「聖ヨセフのように神のご計画に信頼すべし」

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

主が復活された後、教会は主の昇天、聖霊降臨をお祝いしますが、ヨハネによる福音書が証しているように聖霊は教会にとっての「弁護者」です（ヨハネ 14・16、26、15・26、16・7などを参照）。すなわち、この聖霊の弁護によって主の復活の証人である教会が、神と共にあることを確信し、励まされ、世の中に向けて福音を伝えていく存在であることを自覚するに至ったのです。聖霊による弁護なしでは教会は機能せず、福音を伝えることもできません。福音を伝えるために召し出されたわたしたちが、あらためてそのことに気付く必要があります。「神によって選ばれた」ということは「神によって福音を伝えるために召し出された」ということに他ならないからです。司祭や修道者は当然のこと、一人ひとりが「弁護者」によって促されています。

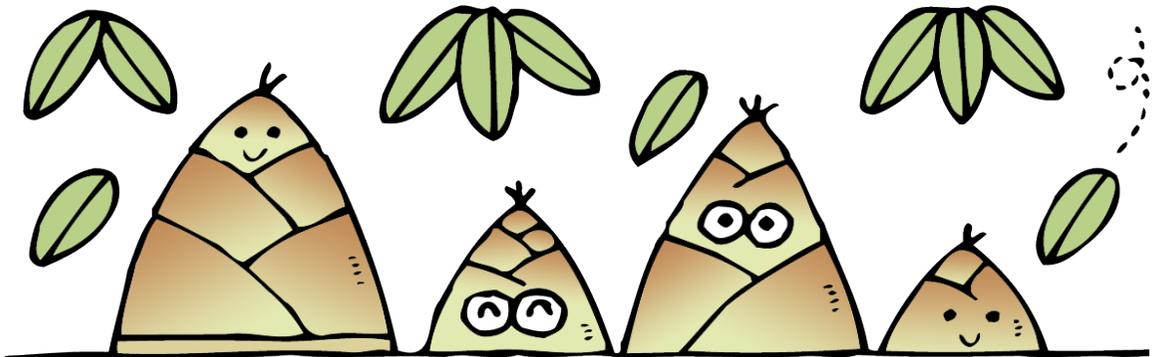
教皇フランシスコは4月25日の「世界召命祈願の日」に向けたメッセージの中で、昨年12月8日に始まった“聖ヨセフにささげられた特別年”にあわせ、聖ヨセフの召命について考えることでわたしたちに呼びかける神の意志に気付かせようとしています。以下、一部を抜粋。ペルーからの手紙

『神からの呼びかけ—わたしたちの最高の夢を実現させてくれるもの—と、わたしたちの応答—寛大な奉仕と行き届いたケアとして具体化されるもの—に加え、第三のものがああります。それは、聖ヨセフの生涯とキリスト者の召命を貫き、日常生活を漠とはしないもの—忠実です。ヨセフは「正しい人」(マタイ 1・19)で、日々の労働を黙々と続け、神とその計画に粘り強く従うかたです。とくに困難なときには、「あらゆることを考え」(20節参照)ています。熟慮し、熟考し、焦りにとらわれず、性急に結論を出
(2面に続く)

聖ヨセフのように・・・・・・・・・・	2面
外国人から相談されて・・・・・・・・	3面
水巻教会の世界のなかま・・・・・・・・	4面
幼稚園から・・・・・・・・・・	5面
教会学校より・・・・・・・・・・	6面
委員会等報告・・・・・・・・・・	7面
お知らせ・・・・・・・・・・	8面

す誘惑に負けず、衝動に流されず、近視眼的な生き方をしません。何事にも根気強く励みます。最高の選びに忠実であり続けることによってのみ、人生は築かれると知っているのです。これは、質素な大工という仕事をするのに必要な、淡々とこつこつ続ける勤勉さに通じるものです(マタイ 13・55 参照)。この勤勉さは、当時ニュースになるものではありませんでしたが、何世紀にもわたり、すべての父親、すべての労働者、そしてすべてのキリスト者の日常生活に靈感を与えてきたのです。召命は、人生と同様、日々の忠実さによってのみ成熟するからです。こうした忠実さは、どのように養われるのでしょうか。神の忠実さの光に照らすことで養われるのです。聖ヨセフが夢で聞いた最初のことは、恐れるなという呼びかけでした。神はご自分の約束に忠実でおられる、だから「ダビデの子ヨセフ、恐れるな」(マタイ 1・20)といわれるのです。恐れるな——これは主が、あなたに、愛する姉妹に、愛する兄弟に、かけておられることばです。あなたが、不安や迷いがありながらも、主に人生をささげたいという願いを先延ばしにはできないと感じたときに、神がかけることばです。あなたがどこにいようと、試練や無理解の中にあつたとしても——、神のみ旨を行おうと日々奮闘しているとき、神が何度も語ってくださることばです。召し出しの歩みの中で、最初の愛に立ち帰るときに、再び見いだすことばです。聖ヨセフのように、日々の忠実さをもって、人生をかけて神に「はい」とこたえる人たちに、決まり文句として、寄り添うことばです。召し出しの保護者である聖ヨセフが、父の心をもって、ともに歩んでくださいますように。』

聖ヨセフに倣いながら、素朴に、純粹に、力強く、さらに神の前で、人の前にあって忠実であることを求めていきましょう。この道こそ「弁護者」によって明らかとなった召命の道であり、これから未来をつくる人々へ証するキリスト者の生き方です。



外国人から相談されて取り組んだ事案(3) 岩本 光弘

毎月第二日曜日に黒崎教会では英語ミサが続けられています。私は時間が空いた時は時々行くことにしていますが、ある時後ろの席に3人のフィリピン人の女性が来ていました。見たことがなかったので声をかけて、仕事などで問題はないかと聞きました。

彼女たちは私のことを不審に思っているようでしたが、その時のミサをした古賀教会のジユド神父が私のことを説明したところ安心したようで、仕事で不審に思っていることを私に話し始めました。そこで時間をかけて聞いたところ未払い賃金があることが分かりました。

後日、場所を変えて私たちのメンバーと通訳者を入れて聞き直しました。その結果かなりの不正が行われていることが分かり、本人たちの承諾を得て雇用主と交渉することになりました。交渉の準備をしているとき、一緒に来日した人たち3人も交渉してほしいという話になりました。最初の人たちは直方で働いていましたが、後から参加した人たちは久留米市でした。6人は同じ管理組合からの派遣なので、一緒に交渉を行うことにしました。

この交渉は二か所での交渉でしたから時間がかかりましたが、この事案に取り組んだことで筑後地域の農業で働いている技能実習生の状態が分かりました。

6人の内4人が3年目で2人が2年目でした。3年目の人たちの帰国が半年後だったので交渉を急ぎました。この交渉にも報道の取材が入りました。

詳しく調べていくと、休日に他の事業所に応援に行かされていましたが、この時の時給は400円だったことも分かりました。この事実は支払伝票を彼女たちがスマホで写してきている証拠がありました。久留米では各社で働いている者を全員集めて、フィリピン人の職員が「会社は経営が苦しいので休日は時給400円で働いて貰わないといけない」と話したのをスマホで録画していました。この分については小郡の協力者に翻訳してもらいました。

外国人は分からないだろうと、不正なことを正当化している実態が次々に出てくるのに、私たちはあきれてしまいました。これらの事実を会社側に突き付けて交渉をしました。

満足できる金額ではないものの、かなりの金額を支払わせることに成功し彼女たちに渡すことができました。この時2年目の人が2名いましたので、3年目の4人が帰国した後も彼女たちを訪ねて不正がないか監視を続けました。

由布市の実習生たちの時もしたのですが、日本の思い出を作ってもらうために小さな旅行を計画し連れて行きました。由布市の実習生は阿蘇への一泊旅行に私が連れて行き、直方の実習生は広島・宮島への旅行をしました。広島ではカテドラルに行きましたが、この時の教区代表者の肥塚神父が教会の歴史や施設などを案内してくれました。

2年続けて筑後地区の実習生の問題に取り組みましたが、その後教会に行くとNGOに捕まると思ったのか、教会に行かせないために「月曜日には出荷しないとイケない」という理由をつけて土曜日を休日にしたところも出てきました。この状態は今も一部で続けられていることが、その後の調べで分かっています。小郡教会に行ったら「岩本さんたちが交渉したから影響があったようですよ」と言われたこともありました。

水巻教会の世界のなかま となりひと

今回は Ly Vo リーさんを紹介します。

①you は日本で何をしていますか

産業医大病院で病人給食の仕事をしています。

②どこに住んでいますか

八幡西区折尾に住んでいます。

③リーさんはとても日本語が上手ですが、日本に来て何年になりますか

私の日本語の能力はまだですが、日本に来て約1年半くらいです。

④何か困ったことはないですか

日本で生活していく中で特に困った事はないですが、初めて海外で住む私にとってホームシックになる事が時々あります。ただ周りの人達が優しく接してくれますので、その寂しさを乗り越える事ができます。

⑤休日は何をして楽しんでいますか

一番の楽しみは友達が集まって一緒に何処かへ遊びに行く事です。

⑥日本に来て驚いた事はありますか

日本人の責任をもった働きがとっても素晴らしいです。

*リーさんはとても明るく社交的で礼儀正しさを感じます。これからも日本人の責任感や真面目さを見習いながら、熱心に病人食作りを学んで下さい!





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 5月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

4月7日に始園式・入園式があり、新学期が始まりました。1つ大きくなったことに喜び、新しいクラスにも少しずつ慣れてきました。これからどんな成長する姿を見せてくれるか楽しみにしています。

虫や鳥たちが、春になったこと教えてくれるように、子どもたちも日々発見を楽しんでいます。先日、園庭にこいのぼりを出しました。

およいでいる姿を子どもたちは、喜んで見ていました。今年度も安心して幼稚園で過ごせるように、子どもたちを見守っていきたいと思います。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>



2021年度がスタートしました。

「みんな少し大きくなりましたね！」

春たけなわの時期、散歩の先のツツジの前で記念写真を撮りました。進級おめでとうございます、と首にメダルを掛けてもらいました。今年度も、無事に楽しく過ごせますように！「マリア子どもの家」の庭には、色とりどりの花が咲き競い、進級を祝ってくれているようでした。

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美・教職員 一同



教会学校のページ

2021年4月11日

4月11日の教会学校では、初聖体式の時に記念品として子ども達にプレゼントした教本「神父様教えて」をみんなで読んで、話し合いました。

この本はイタリア出身でサレジオ会の宣教師であるガエタノ・コンプリ神父様の著書によるものです。子ども達の様々な質問にコンプリ神父がわかりやすい言葉で答えています。

今回ピックアップした質問は・・・

- ① ご聖体はかんでもよいのですか？

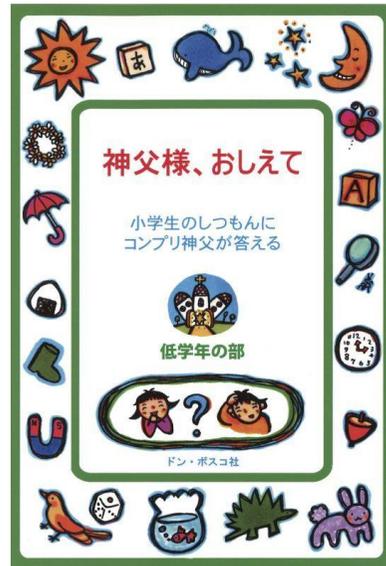
答えは・・・♡その時、イエス様はなんとおっしゃったですか。「食べなさい」と言われたでしょう。もし大きなパンならば、かまないと食べられないではありませんか。だからかんでもいいのです。

- ② なぜ日曜日にミサにあずかるのですか？どうして日曜日があるのですか？どうしてミサというのですか？ん～～皆さん子ども達にこんな質問されたらなんと答えますか？

コンプリ神父の答えに子ども達だけでなく保護者の皆さん、担当リーダーも初めて知った驚きの事実・・・

100以上の質問があるこの教本、子ども達でなく大人も聞きたくなるあれこれがたくさん詰まった物のようです。!(^)!

P.S 今年のご復活の主日は残念ながら雨天のため、恒例のエッグハントが園庭で出来ませんでした。子ども達はとても楽しみにしていたそうで、その雪辱と闘志を来年のエッグハントで果たしたいとのこと！さあ、こちらも隠し場所必死で考えないと!! (*^▽^*)



委員会等報告

2021年4月分

4月度小教区委員会 4月11日

1. 行事予定

- ・5月 2日(日) 小教区委員会
- ・5月21日(金) 役員会
- ・6月 6日(日) 小教区委員会

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 広報委員会

- ・からしだね 発行しました
- ・ホームページ、Facebook の開設状況報告
- ・携帯番号も名簿に反映して欲しい

② 典礼委員会

4月18日 典礼委員会開催

③ 宮繕委員会

- ・階段下の再塗装について
補修工事実施を承認。費用228,690円。
工事は幼稚園のお休みで実施する。(日曜日、GWで実施予定)
- ・聖堂屋根の錆について(調査)
屋根の繋ぎ目のカバーの下から錆が出ている(塗装業者の調査報告)
対策結果をヒアリングの上、今後の対応を検討する。

④ 納骨堂委員会

- ・決算報告を来月実施します

3. 次期役員選出について

(1) 総会実施の可否について

今年は総会を実施する方向で準備する。
6月27日実施予定

(2) グループ活動について

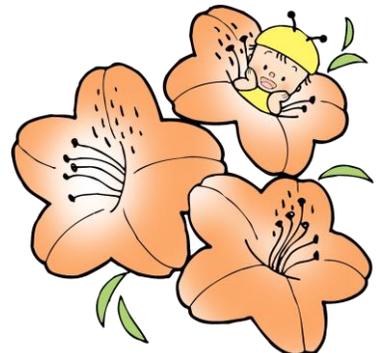
- ・納骨堂は委員会扱いに変更
- ・詩編を歌う会・セシリア会は統一
- ・ふれあい会はコロナ禍の間は休止
- ・侍者会の存続有無は神父様預かり

(3) 委員について

- ・各委員の交代予定
- ・交代委員長が決まっていないところは調整

4. その他

- ・聖歌隊について
意外と密な状態になっている
2F に居る聖歌隊の人数を制限する。
MAX6名。
2Fは聖歌隊のみとする。
2Fは仕切り板がないため、座ったまま歌う。



**★特別献金★**

カテドラル特別献金

25,500円

ご協力、ありがとうございました。

★お気づきでしたか？★

4月11日号「聖書と典礼」の7ページに週刊「こじか」新年度スタートの案内の記事が掲載されていました。その中に、大人向けリレー福音解説者として、谷口神父様の名前がありました。詳しくは、週刊「こじか」のホームページをご覧ください。

★サンパウロ 出張販売★

日 時：5月2日(日)

欲しい物がありましたら、事前にサンパウロの方に伝えておくと、当日持ってきてもらえるとのこと。

★信徒総会★

今年度は、開催する方向で準備を進めています。予定日時は6月27日です。

情報発信まずは facebook から

広報委員会では、これまで教会の情報発信システムの再構築の一環としてホームページの充実を図るための勉強会を開いてきました。しかし、このコロナ禍で、会合を開くこと自体が困難で、勉強会自体が宙に浮いている状態です。

その上、先導役であった濱口学氏が事情で来年には水巻教会を離れることに成りましたが、暫くは、濱口氏もおられるということなので、この間にあらかじめの作業を進めるつもりです。そこで、情報発信の手取り早い方法として facebook (フェイスブック) を近く立ち上げます。フェイスブックで、情報のやり取りをされている方も多いと思われそうですが、高齢者には敷居が高いかもかもしれません。近親者にインストールをお願いするのがお勧めですが、次号でインストールの方法を紹介していきます。